

### 3 - 8 首都圏精密基盤傾動測量及び首都圏精密変歪測量の結果

#### Survey Result of Precise Leveling and Radial Base Line Strain Measurements in the Metropolitan Area

国土地理院  
Geographical Survey Institute

#### 1. 首都圏精密基盤傾動測量

5～15m のパイプを打込んだ点と観測井の内管，外管を観測点とした観測網により，首都圏の上下変動の検出をする測量である。

観測網を東西に分け，それぞれ1年毎に測量を行い，2年分の測量結果を基準日に化成し，前回との比較により変動量を検出している。

第1図は今回の結果であるが，原点から戸田，草加，松戸，船橋を結ぶ範囲で隆起が多くその外側は沈下が多い。前回の報告（会報27巻）では隆起は少ないが傾向は今回も変わっていない。

#### 2. 首都圏精密変歪測量

首都圏に設置した放射基線を2年毎に改測し，水平歪を検出している。今回，2ヶ所の改測結果を第2図に示す。いずれも変化量は極めて小さい。

#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻調査部：首都圏精密基盤傾動測量結果，連絡会報，27（1982），118 - 120.
- 2) 国土地理院：首都圏精密変歪測量結果（放射基線），連絡会報，28（1982），128 - 129.

# 1982.5 — 1980.5

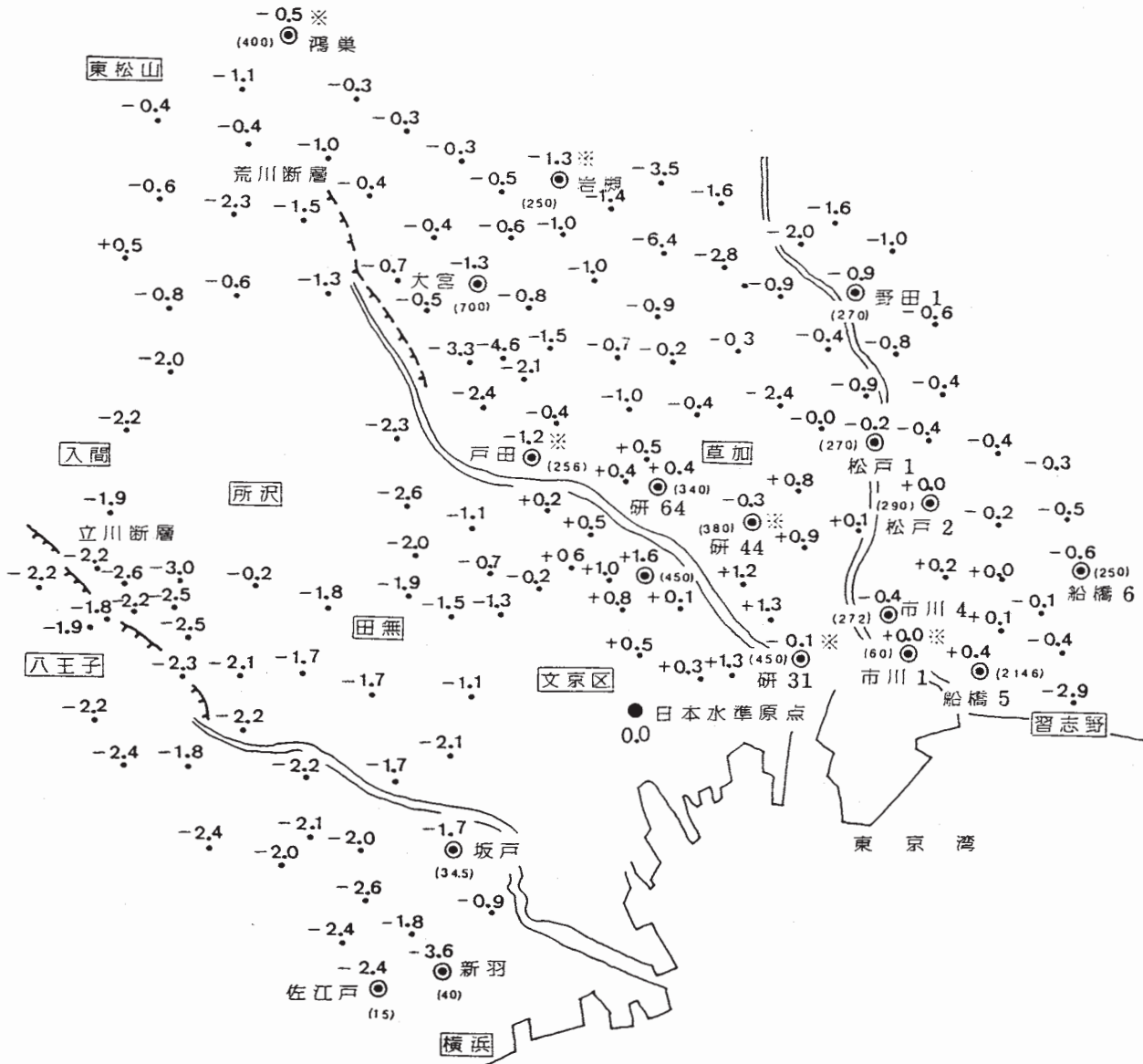
(統一日)

(統一日)

単 位 : c m

- : 日本水準原点 ( 仮不動点 )
- : 基盤傾動点
- ◎ : 地下水観測井

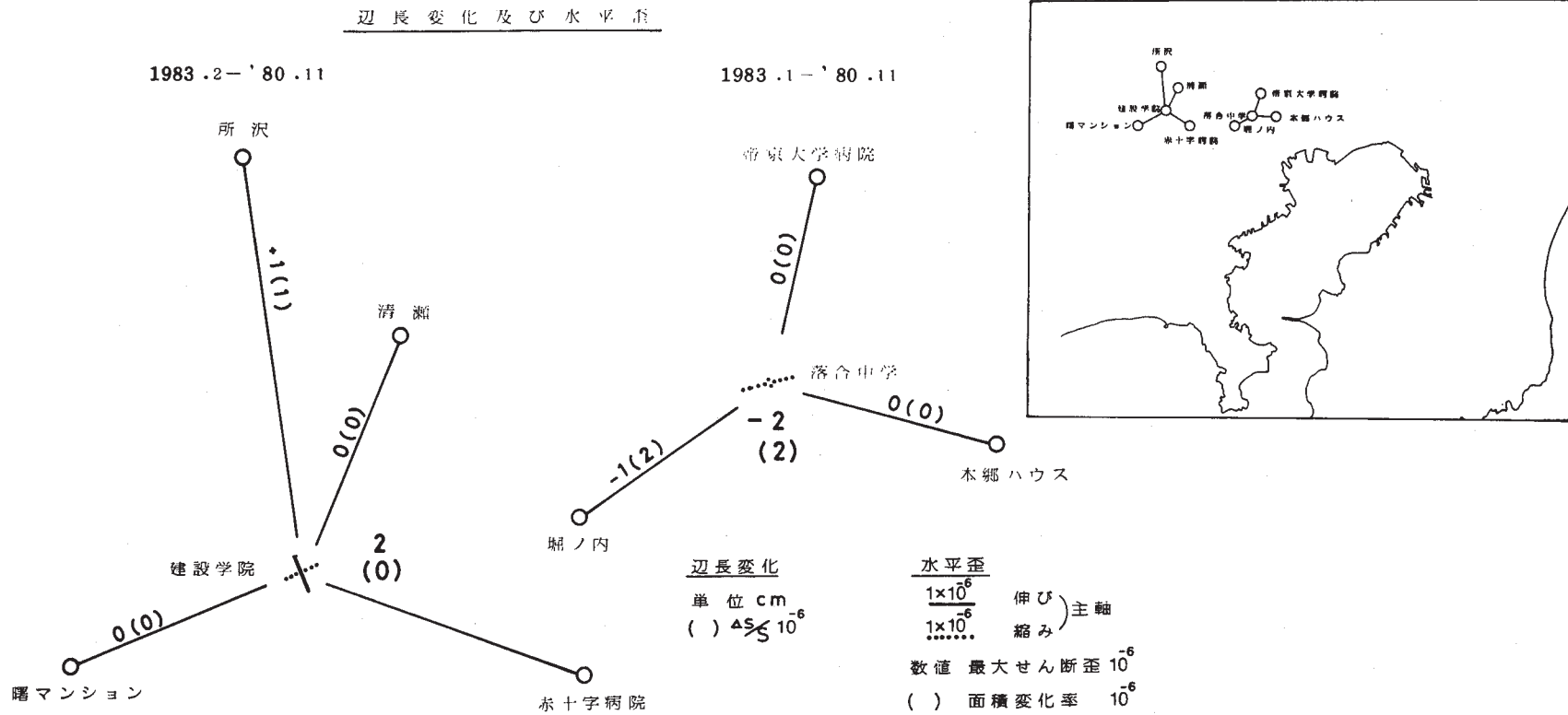
- ・ ( ) の数値は深さを m 単位で示す。
- ・ 観測井の変動量は、※印は内管の変動量、無印は外管又は単管の変動量を示す。
- ・ 1982.5 の統一日の観測は 1981年10月 ~ 1983年1月に、1980.5 の統一日の観測は 1979年11月 ~ 1980年12月に実施したものである。



第 1 図 首都圏精密基盤傾動測量結果

Fig. 1 Survey result of precies leveling in the Metropolitan Area.

測定年 区 間	I	II	II-I 差	測定年 区 間	I	II	II-I 差
建設学院～曙マンション	5524.82	m.82	0 <sup>cm</sup>	落合中学～帝京大学病院	4698.78	m.78	0 <sup>cm</sup>
～所沢	9212.91	.92	+1	～本郷ハウス	5334.02	.02	0
～清瀬	5630.94	.94	0	～堀ノ内	5128.64	.63	-1
～赤十字病院	6493.	.35	—				



第2図 首都圏精密変歪測量結果

Fig.2 Result of radial base line strain measurements in the Metropolitan Area.